

2008年5月(総会)

【下妻会長】

皆様には本日の総会にご参加いただき、お礼を申し上げます。

最初に、第46回総会で、すべての案件、特に「関西経営者協会との統合協議」をしていくことについても承認されたことをご報告申し上げます。

また、今回、立石副会長が京都商工会議所会頭になられたので、島津製作所の矢嶋会長を是非、関経連の副会長に推薦したいとお話があり、副会長の交代についても総会で承認をいただいた。矢嶋新副会長のご略歴は、皆様ご承知の通りであり、詳細は省略させていただくが、地球環境・エネルギー委員会の副委員長をつとめるなど関経連の諸活動に精通されており、一層のご活躍を期待している。

私自身については、1期2年の任期半ばに差し掛かったところであり、まずは今の任期をしっかりと全うしてまいりたい。昨年来、関経連の事務局もいろいろな形での検討や各種の実行計画を大変強力で推進し、かなり成果も上がってきているように思う。昨年は事務局が100日間かけて全事業を総点検し、いわゆる100日タスクの検討結果をとりまとめた。今年はそれをベースに策定した事業計画を総会で承認いただいた訳であり、着実に実行していきたい。

今回、矢嶋新副会長と留任いただく副会長、合わせて12名の副会長が、大阪だけでなく各地方にも目線を置こうということで、関西2府7県の地域別担当副会長制を導入させていただいた。我々が座ってではわからない各地域に出向き、先方の自治体や経済界と意見交換することでニーズをくみ取り、それを関経連の活動に反映し、また各地域のことが理解できればと考えている。

いずれにせよ、こうした活動を通じて、「地域の自立 - 関西はひとつ」という目標を達成しようという心意気なので、マスコミの皆様にも引き続きご支援の程をよろしくお願い申し上げます。

【矢嶋副会長】

立石・オムロン会長は、関経連副会長として、10年以上にわたって、このような諸活

動に携ってこられた。また、京都代表ということで、京都のあり方、関西経済圏の中でいかに京都がお役に立てるかということについて、高い識見を持ってリードされたと伺っている。

立石さんが京都商工会議所の会頭になられたので、副会頭の私が関経連副会長の任務を遂行せよ、というご指示があったものと伺っている。先ほど、下妻会長からお話があったように、今回から地域別担当副会長制を導入したいということであるが、京都はテリトリーが広く、歴史的にもブランド的にも関経連を代表するような事柄があるかもしれないと考えている。会長のお取り計らいにより、UFJの玉越さんが、経済財政委員会を見て、産業・科学技術委員会については、私が進言するという二人三脚で、京都の地域をこれから考えてほしいと承っている。

少し宣伝になるが、島津製作所は創業 132 年の京都の老舗企業。そういうことが、私の運命を支配しているのではないかと思うが、私自身、航空事業に携わったり、少し老舗病にかかった会社の立て直しに取り組んだりした経験の程度なのでよろしくご指導願いたい。下妻会長は、私どもの会社の重要なお客の一人でもある。経済団体としてのあり方、高所にたったものの見方を会長、副会長の皆様によりしくご指導を得た上で、できる限りのことをしたい。

意見具申等で時々ご指名がある際に、関経連の重点事業である陸海空のロジスティックスの強化について申し上げている。東からユーラシア大陸に向けてどのような物流を考えるか、アジア・中国、インドとの共生を図ることに重点を置いた場合に、現在の道路事情はあまりにも大変であり、まさに必要な道路として完備いただきたいと常々申し上げている。そのような切り口でお役に立てればと思っているので、よろしくご指導のほどお願い申し上げます。